北海道小平町

1. 本地域の紹介

本地域の環境	農村、山村、漁村	「子供の農山漁村体験交流計画」の有無	無
アクセス	□車の場合：札幌市～小平町　約2時間30分　旭川市～小平町　約1時間30分 □電車の場合：札幌駅～深川駅～留萌駅～小平町（留萌-小平間はバス）　約2時間30分 □飛行機の場合：新千歳空港～札幌駅　約40分　札幌駅からは電車等の場合の経路と同じ		
本地域の概況	□小平町は北海道の北西に位置する留萌支庁管内南部の町です。 □人口は約3千人（令和3年1月1日現在） □基幹産業は農業と漁業ですが、担い手が不足しています。 □令和元年度から、㈱STAY　OBIRAで「ゆうゆうそう」を運営し本格的に農泊に取り組んでいます。 □その中で、子供を対象にした自然体験の受入を実施しています。		

2. 令和元年度における「子供農山漁村体験交流」の受入実績

①学校教育による受入校数						②社会教育による受入件数	③自治体連携による交流先
小学校	0校	中学校	0校	高等学校	0校	0件	無

※③：2つの自治体間で「子供農山漁村体験交流に取り組むこと」を合意し、「送り手側と受入側の役割」を分担して実施した取組

3. 本地域で提供できる体験・交流メニューの紹介

メニュー1：大人気！名物体験！ホタテの殻外し体験！

体験の分類	漁業 ・ 食 ・ 交流			
実施概要	漁師さんから殻外し方法の説明。むき身はその場で頂きます。殻外し専用ヘラはお土産にお持ち帰り下さい。			
対象学年	小学生低学年 ・ 小学生高学年 ・ 中学生 ・ 高校生			
実施環境	屋内	時期	6月～7月中旬、8月中旬～9月中旬	
所要時間	60分	最大受入可能人数（人）	1回当たり　2～20人	
最低価格	4,000円（税込）/1名　ホタテ5枚程度、殻外し専用ヘラ付き			

メニュー2：トマトやナス、トウモロコシにジャガイモいっぱい！農村収穫体験

体験の分類	農業 ・ 交流			
実施概要	トマト、ナス、トウモロコシ、ジャガイモ、カボチャ、ブルーベリーなど、その時期に採れる農産物を農家さんと一緒に収穫する。			
対象学年	小学生低学年 ・ 小学生高学年 ・ 中学生 ・ 高校生			
実施環境	屋外（雨天中止）	時期	7月～9月	
所要時間	60分	最大受入可能人数（人）	1回当たり　4～10人	
最低価格	4,000円（税込）/1名　農家さんや収穫時期により採れる農作物が変わります。			

メニュー3：日本伝統の和太鼓、ここにあり！おびら太鼓麓龍（ろくりゅう）和太鼓体験

体験の分類	交流 ・ 文化 ・ 芸術			
実施概要	バチと演奏者が一体なる大迫力の和太鼓の舞台。その魅力に触れる体験を。 麓龍の太鼓演奏を聞き、バチを持ち各自和太鼓を叩いてみる。			
対象学年	小学生低学年 ・ 小学生高学年 ・ 中学生 ・ 高校生			
実施環境	屋内	時期	麓龍練習時間に合わせて、毎週金曜19時～	
所要時間	40～50分	最大受入可能人数（人）	1回当たり　1～13人	
最低価格	3,000円（税込）/1名　麓龍の練習がある時のみ			

その他の交流・体験のメニューの紹介

屋外で実施するメニュー	タコの浜茹で見学＆試食体験、トウモロコシ収穫＆試食体験
屋内で実施するメニュー	小平牛（黒毛和牛）のお世話体験、小平産食材でお菓子作り＆試食体験、カボチャ収穫＆スープ作り体験、陶芸体験
屋内・屋外で双方で実施できるメニュー	
体験・交流メニューの紹介サイトのURL	https://www.onoubi.jp
モデルプランの紹介サイトのURL	

4. 本地域における「子供農山漁村体験交流」の受入体制

（1）受入対象

教育種別	学校教育 ・ 社会教育	学年別	小学生低学年 ・ 小学生高学年 ・ 中学生 ・ 高校生

（2）受入可能な期間

日帰り	可	1泊2日	可	2泊3日	可	3泊4日	可	4泊5日以上	要相談

（3）手配できる交流先の候補

受入時のスタッフ	不可	ホームステイ先	不可	地域内の小学校	要相談	地域内の中学校	要相談
地域内の高等学校	不可	その他	農林漁業者、和太鼓体験・陶芸体験の指導者				

（4）1回当たりの宿泊定員（人）

ホームステイ（受入家庭先への分泊）	0人
集団宿泊	青少年教育施設　55人
キャンプ場・コテージ等	キャンプ場　96人

（5）安全面と事前交流・事後交流の対応

①「地域内での緊急連絡体制（医療機関、消防署、警察、行政等）」の整備	未整備
②「本地域・近隣地域にある24時間診療可能な医療機関との連携体制」の整備	未整備
③「受入関係者向けの安全管理基準（ガイドライン、マニュアル等）」の策定	未整備
④「感染症拡大予防ガイドライン・マニュアル等」の策定	未整備
⑤「アレルギー・障がい等を抱える子供への配慮」の対応	要相談
⑥受入窓口による「体験・交流中の傷病・事故・災害等発生時の連絡・調整」の対応	可
⑦「対面・オンラインによる地域人材との事前・事後交流、講義等」の実施	要相談

5. 本地域での「子供農山漁村体験交流」に係るお問い合わせ先

子供農山漁村体験交流の受入窓口	株式会社 STAY OBIRA		部署名	
	団体構成			
	TEL	0164-56-2380	E－MAIL	obira.nouhaku@gmail.com
	住所	〒078-3301　北海道留萌郡小平町字小平町469番地3		
	URL	https://www.onoubi.jp		
自治体の担当部署	部署名	経済課農林係	E－MAIL	info@town.obira.lg.jp
	TEL	0164-56-2111	URL	http://www.town.obira.hokkaido.jp/